

中部山岳国立公園（南部地域）における利用拠点の概要 （利用拠点ごとの高付加価値化の方向性と役割分担）

別添 1

【山岳エリア（槍・穂高連峰等）】 登山

登山を経なければ味わうことのできない
感動と学びの体験の提供

- 本格登山領域に相応しいレギュレーションとガイドランスによる山岳利用の上質化
- ⇒北アルプスの登山文化を担ってきた山小屋を支える仕組みの構築
- ⇒山小屋らしい高付加価値利用の検討

【新穂高温泉】 自然探勝

槍・穂高連峰の玄関として幅広いターゲットが登山や自然体験を楽しめるエリア

- 槍・穂高連峰に登る拠点という性格を明確化。ロープウェイの駅ごとに特徴と魅力を持たせ、体験とターゲットの差別化を図る。
- ⇒ロープウェイ路線の高低で宿泊施設を提供する体験サービスの差別化を図る。

【平湯温泉】 ゲート 温泉街

多様な利用者を受け入れ、より良い体験をバックアップする温泉郷へ

- 交通結節点という好立地かつ、歴史ある湯治場、北アルプスへの眺望などの良好なロケーションを活かした拠点の魅力向上。
- ⇒温泉街・各宿泊施設の“平湯らしさ”を追求し、単なるゲートではなく、ここに泊まる意義を高める。

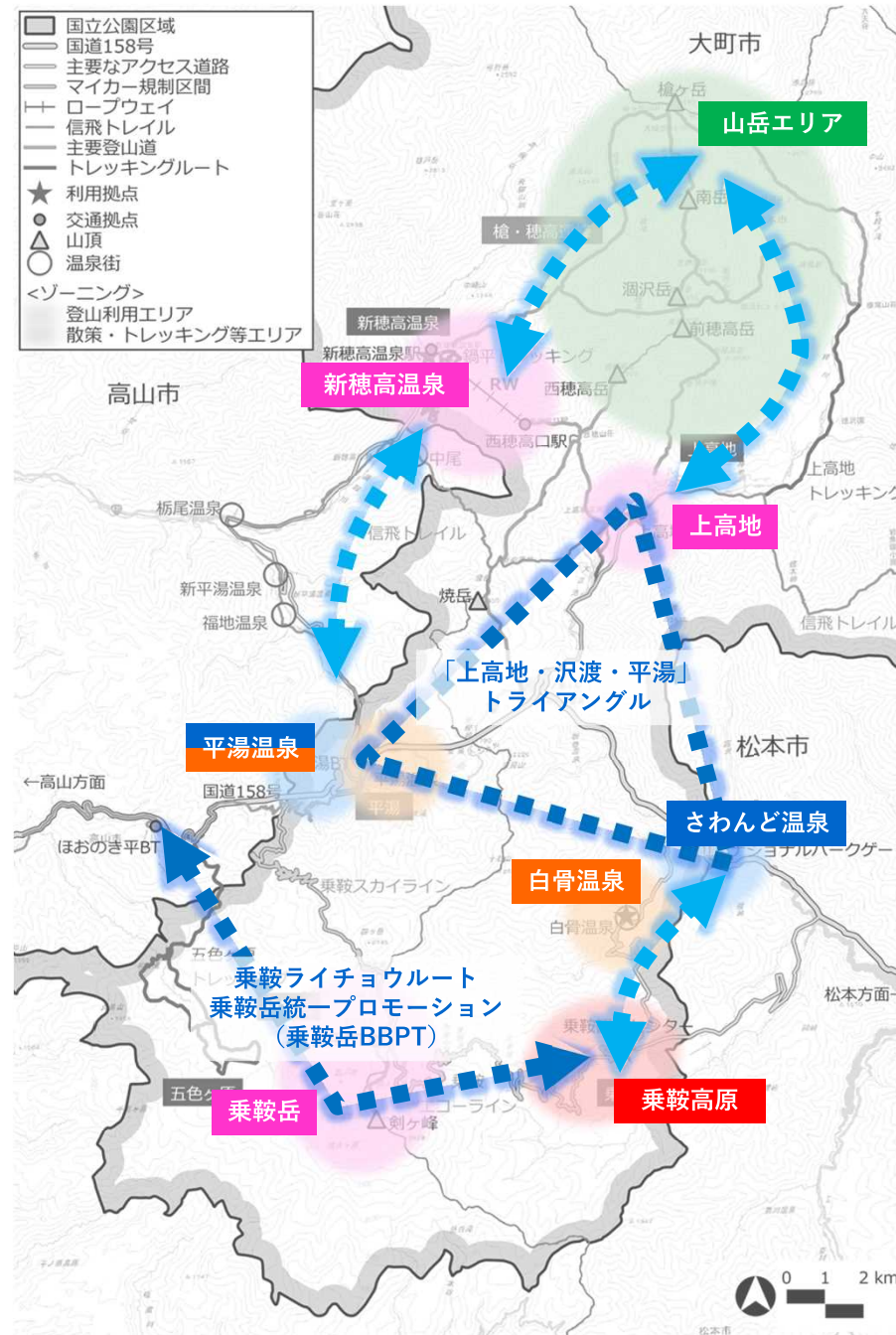
【乗鞍岳】 自然探勝

アクセス性の高い3,000m級の高山帯における唯一無二の感動体験の提供

- 高山帯でのみ体験しうる感動体験（眺望、雪渓、星空、ライチョウ等）の提供
- ⇒3,000m級の山岳地帯での特別な宿泊体験の提供
- ⇒高山帯としての特段の環境配慮

○：利用の高付加価値化の方向性

⇒：宿泊施設の方向性



【上高地】 自然探勝

時代や国籍を超えて人々を魅了する場所であり続ける、上質な環境の維持・向上

- 上高地は既に唯一無二の憧れの存在。今後も訪れる人を魅了する場所であり続けるため、地域の質の向上を目指す。
- ⇒創業から100年を超える宿も多く、既に土地の魅力を活かした様々な宿泊施設がある。それらの磨き上げ（高付加価値化）と利用者へのさらなる訴求を目指す。

【さわんど温泉】 ゲート

フィールドへ出かける人や物の準備が整えられる、便利で特別感のある利用拠点へ

- National Park Gate を中心とした情報発信拠点。上高地のみならず、中部山岳国立公園南部地域の各拠点への入口として、ゲート機能を極める。
- ⇒乗換拠点近くに泊まる・住むことそのものを価値とした宿泊施設・機能を提供する。

【白骨温泉】 温泉街

「秘湯」を未来に継承し、自然の中で健康を取り戻す体験に富む滞在拠点

- 秘湯としての雰囲気を持続しつつ、宿泊客の健康の維持、回復をキーワードとしたアクティビティの充実を図る
- ⇒1週間の長期滞在できる湯治の温泉地として、温泉・食事・運動・睡眠を組合せた健康づくりを提供する宿泊施設。

【乗鞍高原】 アクティビティ

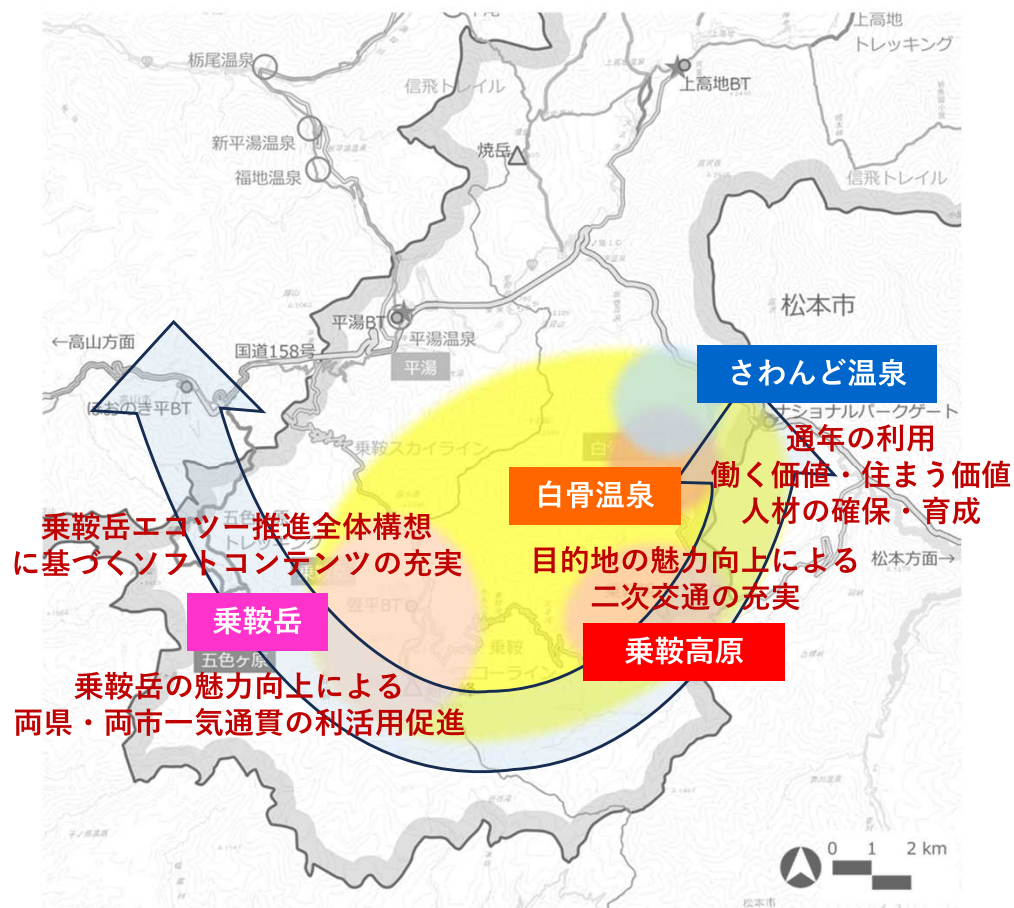
乗鞍高原を愛する人々とともに、温故知新×サステナブルな滞在を満喫する拠点

- 四季を通じた多彩なコンテンツの提供と持続可能な地域づくりへの貢献
- ⇒のりくら高原ミライズのビジョンに共感し、乗鞍高原らしさを体現する宿泊施設
- ⇒地域の課題解決にともに取り組む宿泊施設



中部山岳国立公園（南部地域）における利用拠点の概要 （先端モデル事業の対象とする利用拠点と目指す方向性について）

乗鞍岳・乗鞍高原・白骨温泉・さわんど温泉地区を一体的な利用拠点として選定



目指す方向性

- 本事業の拠点選定候補として、**乗鞍岳及び乗鞍高原**において、**地域の利用を牽引する核となる宿泊施設の誘致を含む魅力向上**について、隣接する**白骨温泉及び交通結節点であるさわんど温泉と一体的に検討**を行う。
- これにより、異なる個性を有する4つの利用拠点を一体的な拠点と捉え、それぞれの**利用拠点の磨き上げと、その相互作用によって高付加価値な滞在体験を提供**する。
- **行政界を越えた一気通貫の利活用促進、各目的地の魅力向上により、通年利用の推進、二次交通の活性化、雇用確保や従業員宿舍の整備、アクティビティの充実等地域が抱える課題解決への貢献**を目指す。